

建物本体が完成

新葛巻病院 9月4日診療開始

新病院は住民から多くの期待を持たれていることから、地域医療の充実に向けた取り組み強化と近隣医療機関との連携に努め、より一層の経営努

28年度決算は、一般会計からの繰り入れなど単年度黒字決算となり、累積欠損金が減少しました。経常損失が前年度よりも縮小したことは経営努力の成果です。今後も、医師、看護師、職員が連携し、町民の健康増進のための取り組み強化を望みます。

監査委員の意見

水道は大変重要なライフラインであることから、経営効率を重視しつつ、設備投資の財源確保に努

28年度決算は、歳入5億756万円に対し、歳出が4億8652万円、黒字決算となりました。町の簡易水道統合計画に基づき、簡易水道事業特別会計は28年度決算をもって廃止となり、29年度から複式簿記の水道事業会計となります。

簡易水道会計



完成した新葛巻病院

7月定例会議

7月定例会議は、7月7日から14日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、28年度簡易水道特別会計と葛巻病院事業会計の決算認定や29年度補正予算など9件、すべて全議員の賛成で原案どおり「決定」しました。一般質問は、議会活性化のため土曜日に開催し、5名の議員が町の対応や考えをいただきました。本会議では、昨年度に引き続き、沖縄の「かりゆしウエア」を着用して議事に臨みました。



決算審査意見書を提出する監査委員

28年度簡易水道事業特別会計決算状況

区分	28年度	27年度	前年対比
歳入	5億756万円	5億854万円	△0.2%
歳出	4億8652万円	4億9369万円	△1.5%
差引額	2104万円	1485万円	41.7%

め、独立採算を基本とした安定的な水道事業の継続を望みます。

28年度決算は、事業収益10億3940万円に対し、事業費用が8億7922万円、1億6018万円の純利益を計上し、単年度黒字決算となりました。これにより、累積欠損金が4億2323万円に減少しました。病院経営では、禁煙外来、睡眠時無呼吸症候群の検査、訪問診療、フットケア外来や糖尿病教室を継続するなど、医療サービス向上に取り組みました。

病院会計

28年度病院会計・簡易水道会計決算認定

新病院の建物本体が完成し、いよいよ9月4日から外来診療開始となります。(9月1日は休診、2・3日は救急患者のみとなります。)

28年度病院事業会計決算状況 (税抜き)

区分	28年度	27年度	前年対比
事業収益(a)	10億3940万円	9億1527万円	13.6%
事業費用(b)	8億7922万円	8億7121万円	1.0%
純利益(a)-(b)	1億6018万円	4406万円	263.5%
年度未累積欠損金	4億2323万円	5億8341万円	△27.5%

決算特別委員会

決算特別委員会(山岸はる美委員長)を設置し、7月10日に簡易水道会計決算と病院事業会計決算を審査しました。主な質疑は次のとおりです。

江刈地区水道建設

問 江刈地区水道の完成見通しは。
答 国の補助金が期待どおりに付かなかつたため、工事が進んでおらず、30年度までの完成は難しい状況です。

葛巻病院会計

問 病院会計への繰り入れ継続は。
答 29年度以降も、経営状況を見ながら判断していきます。